

平成 29 年度感染制御専門薬剤師試験
出題基準と範囲

1. 感染制御関連の薬剤師認定および法律
 - 1) 感染制御薬剤師制度について説明ができる。
 - 2) 医療関連感染制御の変遷を説明できる。
 - 3) 感染制御に関わる法制度を理解している。
2. 微生物の基礎知識
 - 1) 微生物(細菌、真菌、リケッチア、クラミジア、ウイルス)の概要を説明ができる。
 - 2) 病院・施設内感染に関連する主要微生物について説明ができる。
 - 3) 感染症法の類別感染症と原因微生物について説明できる。
3. 留意すべき細菌感染症の基礎知識
 - 1) 細菌感染症とその対策について説明ができる。
 - 2) 薬剤耐性菌感染症について説明ができる。
4. 留意すべき真菌感染症の基礎知識
 - 1) 真菌感染症その対策について説明ができる。
5. 留意すべきウイルス感染症の基礎知識
 - 1) ウイルスの形態、特徴、分類が説明できる。
6. 新興・再興感染症
 - 1) 新興・再興感染症について説明ができる。
 - 2) 耐性菌による感染症について説明ができる。
7. 抗菌薬の基礎知識
 - 1) β -ラクタム薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
 - 2) β -ラクタム薬以外の抗菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
 - 3) 合成抗菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
8. 抗真菌薬の基礎知識
 - 1) 抗真菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
9. 抗ウイルス薬の基礎知識
 - 1) 抗ウイルス薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
10. 薬剤耐性菌の基礎知識

1) 抗菌薬耐性機構を説明できる。

2) 話題の耐性菌を説明できる。

11. 感染症とワクチン

1) ワクチンの種類を説明できる。

2) ワクチンの接種方法、接種量を説明できる。

3) ワクチンの保管、有効期限を説明できる。

12. 感染症と臨床検査

1) 微生物検査を理解している。

2) 主な感染症の検査を説明できる。

13. 抗菌薬の適正使用

1) 抗菌薬投与前に把握しておくべき患者状態について理解している。

2) 初期治療における抗菌薬の選択について説明ができる。

3) 治療効果の判定と抗菌薬の見直しについて説明ができる。

4) 感染予防としての抗菌薬の投与について説明ができる。

5) PK-PD 理論を理解して説明ができる。

6) TDM が必要な薬剤を説明できる。

7) 薬物動態に基づいた投与設計を理解している。

8) 抗 MRSA 薬およびポリコナゾールの TDM について説明ができる。

14. 抗菌薬の使用上の留意点

1) 抗菌薬化学療法の実践原則について説明ができる。

2) 抗菌薬の投与方法、投与量、投与期間について説明ができる。

3) 腎障害、肝障害時の投与方法について説明ができる。

4) 小児、高齢者、妊婦への投与の留意点について説明ができる。

5) 抗菌薬の安全性、特徴的副作用について説明ができる。

6) 抗菌薬の主な相互作用について説明ができる。

7) 腎障害時における抗菌薬の適正使用が説明できる。

15. 感染症の予防とその治療

1) 感染症の予防と治療の基本を理解している。

2) 敗血症の原因、疫学、診断、治療、予防などを説明できる。

3) 好中球減少症の定義、原因、診断、治療を説明できる。

4) 肺炎の病態、診断、原因微生物、予防、治療などを説明できる。

5) インフルエンザの診断、予防、治療などを説明できる。

- 6)結核の予防、治療を説明できる。
- 7)腸管感染症の病原体、治療、予防などを説明できる。
- 8)尿路感染症とカテーテル管理について説明できる。
- 9)尿路感染と緑膿菌の関連を説明できる。
- 10)複雑性尿路感染症について原因、薬剤選択を説明できる。
- 11)性感染症の診断と治療が説明できる。
- 12) HIV の感染経路について説明ができる。
- 13)標準予防策と針刺し事故防止対策について説明ができる。
- 14)HIV 暴露後の予防対策について説明ができる。
- 15)HIV の病院感染対策について説明ができる。
- 16)ウイルス性肝炎の疫学、診断、治療、予防などを説明できる。
- 17)カンジダ症の病態、診断、治療、予防などを説明できる。
- 18)疥癬の生態、症状、診断、治療、予防を説明できる。
- 19)手術部位感染症の予防を説明できる。
- 20)小児における発疹性疾患の種類、症候、微生物、診断治療を説明できる。
- 21)小児における呼吸器および消化器感染症の種類、症候、微生物、診断治療を説明できる。
- 22)その他の小児期感染症の症候、微生物、診断治療を説明できる。

16.エビデンスに基づいた感染対策

- 1) 標準予防策と感染経路別予防対策が説明できる。
- 2) 手指衛生について説明ができる。
- 3) 血管内留置カテーテル感染対策について説明できる。
- 4) 尿路留置カテーテル感染対策について説明ができる。
- 5) 手術部位感染防止(SSD)について説明ができる。
- 6) 病院環境整備と環境微生物調査について説明ができる。
- 7) 医療器材の洗浄と滅菌方法について説明ができる。
- 8) エビデンスが明らかでない感染対策について説明ができる。

17.感染制御とガイドライン

- 1)CDC のガイドラインについて説明できる。

18.サーベイランスとアウトブレイクへの対応

- 1)サーベイランスの定義、構成者、流れを説明できる。
- 2)サーベイランス・システムの構築、評価を説明できる。

3)疫学調査を説明できる。

19.洗浄・滅菌の実際

1)洗浄の目的、作用、方法を説明できる。

2)滅菌法の種類、特徴、方法を説明できる。

3)滅菌の確認手段を説明できる。

20.消毒薬の適正使用

1)生体消毒薬の種類、特徴、使用濃度を説明できる。

2)器材・環境に対する消毒薬の使い分け、消毒法を説明できる。

3)消毒方法を説明できる。

4)消毒薬の留意点を説明できる。

5)消毒薬を誤使用時の症状と対応を説明できる。

21.注射薬の無菌調製

1)投与リスク分類を説明できる。

2)汚染リスク別に該当する注射薬の調製を説明できる。

3)米国における輸液調製ガイドラインを説明できる。

22.医療廃棄物

1)医療廃棄物の分類を説明できる。

2)感染性廃棄物、非感染性廃棄物の処理法、現状を説明できる。

3)在宅医療廃棄物の取り扱いを説明できる。

23.感染対策の経済性

1)品質管理のためのフレームワークを説明できる。

2)経済性の評価方法を説明できる。

3)病院感染発生による増分原価を説明できる。

4)感染対策への投資と効果を説明できる。

24.病院感染対策のネットワーク化

1)ネットワーク構築の重要性を説明できる。

2)ネットワーク化の活動内容を説明できる。

25.薬剤師の役割

1)ICC と ICT の構成員と役割を説明できる。

2)ICT の業務を説明できる。

3)ICT における薬剤師の役割を説明できる。

参考図書

1. 薬剤師のための感染制御マニュアル第4版 日本病院薬剤師会編
2. 抗菌薬使用ガイドライン 日本感染症学会・日本化学療法学会編
3. 消毒と滅菌のガイドライン 小林寛伊編
4. 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト 日本化学療法学会編
5. 各種CDCガイドラインなど